



選考採用職員からのメッセージ（1/2）

現在の業務内容

東海農政局のWebサイトの最終承認者として、各部より承認依頼が届いた新規・更新ページを管理しています。また、Webサイトページの作成に当たり、相談窓口として操作案内なども行っています。併せて、メルマガ「とうかいほっとメール」の配信業務として、各部より東海農政局管内でのイベント等や東海農政局として一般読者に届けたい情報を集約し、基本的に毎月1回発行しています。また、農林水産省公式YouTube「BUZZ MAFF（ばずまふ）」で東海農政局管内の農林水産業、農山漁村、特産品などの魅力を「でらTOKAI」として月1回程度撮影・編集し、紹介しています。



R4入省
企画調整室

志望動機

友人が東海農政局に在籍しており職場の雰囲気が良いなど、とても楽しいと話していました。**どんなに魅力がある仕事でも職場の雰囲気が悪ければ仕事をしていく上で、上手いかわないことがある**と思っていました。また、以前の職場は人間関係も良好でとても楽しく仕事をしていましたが、新型コロナウイルス感染症が開始してから、普段できていたことが制約され、今まで当たり前だと思っていたことがもろく・弱かったことを痛感しました。コロナ禍でいろいろと考える時間が増え、**将来の不安など葛藤もあり、新しいことにチャレンジをしようと決めました。**「農林水産省」の業務内容等を調べると、今まで知らなかった「食」に関して知ることができ、仕事として携わりたいと東海農政局へ応募しました。

職場の雰囲気

職場の皆さんは、とても優しく分からないことがあれば気軽に質問ができ、一緒に考え解決策を見つけ最後まで見守ってくれます。**風通しの良い職場環境です。**

皆さんへメッセージ

業務に関しては、数年ごとにジョブローテーションがあり、覚え始めたころに異動となります。そのため、初めて携わる仕事の方のために引継資料が細かく作成されていますので安心でした。また、**転職したばかりの頃は民間との違いに戸惑いましたが、職場の皆さんが丁寧にいろいろと教えてくださり、自分でも思った以上に早く仕事に慣れることができました。**休暇については、取得しやすい環境です。1時間単位で年休を取得することができ、仕事の裁量では当日でも取得できます。また、年休以外に夏季休暇（3日間）が付与されていますので、**年休と合わせて長期休暇の取得も可能です。**

生産部で「**みどりの食料システム関係**」と「**総務事務全般**」の業務を担当しています。



R3入省
生産部
生産振興課

入省前は、農業に全く関わりのない事務作業を行う民間企業で仕事をしていたが、自宅の家庭菜園で収穫した野菜や果物を家族が美味しく食べている姿を見て「**食や農業を支えられる仕事をしてみたい**」と思ったのが転職のきっかけです。それから転職先を探す上で、東海農政局であれば、東海地域で食や農業を幅広く支えられるのではないかと考え、東海農政局への転職を決めました。

入省後、2つの課を経験していますが、どちらもベテラン職員が多く、分からないことを質問すれば「昔はこうだったけど、今はこうなっている」など、**過去の経緯から丁寧に教えてもらえる優しい雰囲気の職場です。**また、どの職場も「若手に色々な経験をしてもらいたい」と考える上司も多く、若手育成にも力を入れてもらっている雰囲気もあります。

選考採用で入省されるみなさんは、民間と国、双方の立場を理解できる貴重な人材だと思います。民間で培ったスキルを活用し、双方の架け橋のような存在となれば、大いに活躍できるフィールドが農林水産省および東海農政局にはあります。一緒にお仕事ができる日を楽しみにしています。



選考採用職員からのメッセージ（2/2）

現在の業務内容

農林水産物・加工食品の海外輸出にかかる補助事業の事務手続き、事業者や各関係機関との調整業務、輸出促進に関する情報発信等を行っています。



R5入省

経営・事業
支援部
輸出促進課

志望動機

新卒で就職してから気づけば中堅という立場にあり、今後どのように働いていきたいかを深く考えるようになりました。その中で、**新たな環境でチャレンジしてみたい**という想いが強くなりました。また、**家庭持つから今まで以上に「食」への意識が高まり**、食の安全や安定供給、日本食の魅力に関心を寄せるようになっていたところ、東海農政局の選考採用について知り、挑戦するに至りました。

職場の雰囲気

分からないことがあれば、職場内の上司や先輩、後輩が丁寧に教えて下さるので、気兼ねなく聞くことができます。**チーム単位でコミュニケーションを図って業務を進めていくことが多いので、一人で抱え込むことなく、相談しながら進められることも安心できます。**

皆さんへメッセージ

現在の仕事をしながら、または、家事や育児をしながら転職活動することは、たやすいことではないと思います。しかし、新たなチャレンジをしたいという強い想いがあり、国家公務員として働くご自身の姿を少しでも想像できるならば、是非チャレンジしてみてください。一緒に働けることを楽しみにしております！

都道府県における農地の中間的受け皿組織である**農地中間管理機構（通称農地バンク）**に関する業務を行っています。農地中間管理機構を活用することで、農地の集積・集約化をして効率良く農作業をすることができ、複数農地を貸し借りする場合は窓口の一本化ができる、急に耕作ができなかった場合にスムーズに他の人へつなげる可能性が高いなど、様々なメリットがあります。農水省では、農地中間管理機構をより活用いただくための様々な補助事業を用意しています。主に東海3県における補助事業に関する事務手続きを担当しており、また、もっと多くの方に農地中間管理機構を活用いただくための事業推進・周知などを行っています。



R4入省

経営・事業
支援部
農地政策推進課

私は今までの人生の中で「行政に多く助けられている」という思いを持っていたので、**いつかは自分も行政を担う側に立って誰かの役に立ちたい**という気持ちがありました。そんななかで、東海農政局の職員募集を知り、自分の職務経験を生かして国民の皆様の食を支える仕事ができるならばぜひやってみたいと思い転職に至りました。

職場の先輩方は優しい方ばかりです。業務は決して簡単なものばかりではないので、悩みながら試行錯誤しながら業務を遂行する毎日ですが、周りの方は行政事務や農業に関する知識が豊富な方ばかりなので、**業務に関してはもちろん、東海地方の農業の特色や農政の成り立ちなど様々なことを教えてもらっています。**

私は今まで農業に携わる業務経験がありませんでしたが、今までの職務経験を活かせる部署に配属していただき、知識を生かしながら日々の業務を行っています。農政局の業務は幅広いので、あなたの職務経験を生かせる業務がきっとあります。農業や食に興味のある皆様、あなたの職務経験を生かして一緒に日本の将来の食を支える仕事をしませんか？